

セコムは、「セキュリティ」「超高齢社会」「災害・BCP・環境」を切り口に、社会の困りごとや日常の不安を“ALL SECOM”で解決すべく、収集したビッグデータを基に、セコムならではのサービスを創出し、さらなる成長をめざします。

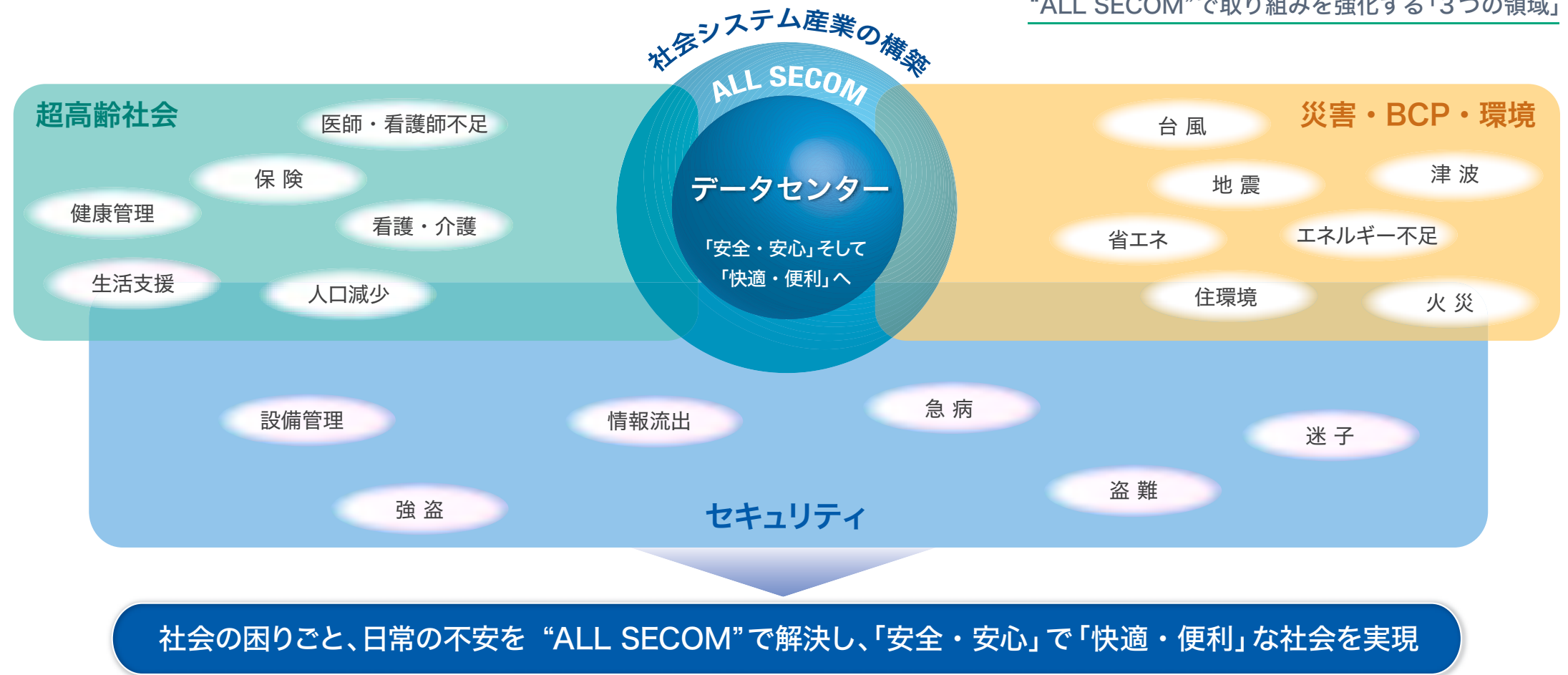
■ビッグデータの有効活用により

「リアルタイム災害情報サービス」を提供

災害が発生した時に、セコム独自のビッグデータ解析を活用して、お客様に信頼できる情報を提供するのが、次世代防災サービス「リアルタイム災害情報サービス」です。同サービスは、セキュリティサービス、防災、情報通信のノウハウを融合し、“ALL SECOM”で実現しました。セコムのセキュリティネットワーク、ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)や公的機関による情報を、セコムの「セキュアデータセンター」に集約して解析することで、「安全な避難」や「事業継続の判断や指示」に必要な確度の高い情報を提供することができます。

避難情報は、個人・企業宛てに火災・液状化・冠水位置などの「危険情報」として、お客様の登録地や現在地によってカスタマイズして発信されます。BCP情報は、企業の管理者に専用サイトで災害関連情報として提供されます。その情報は企業から事前にお預かりしている店舗の位置などの情報とセコムが収集した災害情報により、災害発生地での状況判断や、誰をどこに向かわせるかといった指示に役立つようにカスタマイズされます。

「リアルタイム災害情報サービス」は、災害に強い「セキュアデータセンター」に併設した「セコムあんしん情報センター」が運営しています。同センターは、あらゆる災害発生時でもサービスを提供できる体制を整え、24時間365日災害情報を監視し、集積・分析して、お客様に配信します。セコムは、データセンターをセコムの各種サービスの中核拠点であるサービスセンターと位置づけ、ビッグデータを有効活用しながら社会に役立つサービスの創出を加速していきます。



社会の困りごと、日常の不安を “ALL SECOM” で解決し、「安全・安心」で「快適・便利」な社会を実現

■セコムの事業を支える重要な経営基盤

セコムの経営基盤の中で競争力の源泉と位置づけているのは、「技術力」「人財」「オペレーション体制」です。

「技術力」としては、セコムIS研究所が社会システム産業を実現するための将来のコア技術の創出に取り組み、セコム開発



「セキュアデータセンター」

センターがその基盤技術を生かして、お客様の声を反映させた独創性と信頼性の高いシステムを迅速・的確に開発しています。セコムは、技術力をセキュリティ市場で競争優位を確保する上で重要な経営資源のひとつと捉え、社会動向、犯罪動向、技術動向などを見据えながら、最新技術を活用したシステムを開発・提供しています。

「人財」としては、全国4カ所の研修センターで、緊急対処員をはじめ営業員、管理担当者などが、知識や技術とともに「セコムの理念」や安全のプロフェッショナルとしての行動規範を習得することで、質の高いサービスの提供に結びついています。

「オペレーション体制」としては、侵入・火災などの異常の24時間監視は、センサーなどのセキュリティ機器を活用し、緊急対処などの判断力や対応力を必要とする部分は人間が行っています。加えて、2,800カ所を超える緊急発進拠点を持つことにより、迅速な緊急対処を可能にしています。

セコムのセキュリティサービスの強みは、研究開発から機器の製造、販売、セキュリティプランニング、設置工事、24時間監視、緊急対処、メンテナンスまで、オンライン・セキュリティシステムを一貫して提供する体制にあります。また、レンタル方式でセキュリティシステムを提供することにより、お客様は初期の導入費用を抑え、加えてセコムがセキュリティ機器を維持・管理するので、常に品質の高いセキュリティサービスを利用することができます。

■「セキュリティ」への取り組み

セコムは、お客様の幅広いセキュリティニーズに応じて、付加価値の高いサービスやシステムを提供しています。

事業所向けでは、オンライン画像監視システム「セコムAX」をはじめとする豊富なラインアップで、テナントビル・工場・オフィス・店舗などのさまざまなニーズに応えています。また、家庭向けの「セコム・ホームセキュリティ G-カスタム」は、「安全・

特集：“ALL SECOM”でビッグデータの有効活用を図りサービス創出を加速



安心」を提供するオンライン・セキュリティシステムに加えて、生活をより「快適・便利」にするサービスが進化しており、屋外用携帯緊急通報システム「ココセコム」は、認知症の高齢者の徘徊対策に有効であることが注目されています。さらに、情報漏洩対策のニーズには出入管理システムを、犯罪の抑止には防犯カメラシステムを提供しています。

近年は、建物などのセキュリティだけではなく、情報のセキュリティも重要なテーマとなっています。セコムは、お客様の情報セキュリティ確保に必要な安全対策から監視、対処、正常化までのサービスを提供しています。最新の情報セキュリティとして、急速に被害が拡大しているインターネットバンキングにおける不正送金被害を防止する「セコムプレミアムネットサービス」の提供を開始しました。

■「超高齢社会」への取り組み

セコムは、超高齢社会を迎えた日本の現状と将来を見据えたサービスの提供に取り組んでいます。

突然の体調不良やけがなどへの不安を解消したい高齢のお客様に提供しているのが、「セコム・ホームセキュリティ」のオプションである高齢者向け救急時対応サービス「セコム・マイド

クタープラス」です。「ALL SECOM」で実現した「セコム・マイドクタープラス」は、救急対応と介護を一体化したサービスを提供しており、多くの貢献事例が報告されています。また、「セコム・ホームセキュリティ」のオプションサービスとして、メディカルサービスと生活支援サービスを組み合わせて高齢者の暮らしを定期的に見守る「お元気コールサービス」や「お元気訪問サービス」も利用でき、離れて暮らすご家族に見守りの報告をすることで、ご家族にも安心を提供しています。

セコムは、高齢者向け複合施設「セコムカリアあざみ野」を開設し、サービス付き高齢者向け住宅やデイサービス、地域交流スペースを提供しています。また、さまざまな在宅サービスで培ったノウハウを結集して、在宅医療・介護サービスの総合拠点「セコム在宅総合ケアセンター鎌倉」も開設しました。

セコムは、訪問診療などの在宅医療のニーズに応えるために、患者様の肌の色を正確に再現する「モバイル遠隔診療システム」を開発しました。このシステムにより、患者様は在宅のまま遠隔地にいる医師の視診を受けることが可能になります。

セコムは、超高齢社会が必要とするこのような各種サービスをシステムとして統合・連携させて、効率化を図るとともに、海外の国や地域への展開も図っていきます。



セコム・コントロールセンター



セキュリティから医療まで多岐にわたる研究を行うセコムIS研究所



「セコム在宅総合ケアセンター鎌倉」

■「災害・BCP・環境」への取り組み

災害・BCPについては、事前準備から災害発生時の現状把握、初動・復旧の支援まで、さまざまなサービスを提供しています。

災害に備えた事前準備には、「初動マニュアル作成支援サービス」などを用意しています。災害発生時の状況把握には、BCPを支援する「セコム安否確認サービス」を提供しており、災害発生時に企業の被災状況の情報収集と初動を支援しています。災害が発生した後、速やかに初動・復旧するためには、セコム独自のビッグデータ解析を活用した次世代防災サービス「リアルタイム災害情報サービス」を提供しています。

(株)パスコでは、人工衛星や航空機で収集した地表データなどを加工・処理・解析した空間情報を提供しており、2013年、台風による伊豆大島での河川の増水や土砂災害の被害状況の把握に、パスコの地図情報が活用されました。

環境の分野では、オンライン監視機能と設備制御機能を一体化して省エネ対策に貢献する安全管理・設備自動制御システム「セコムFX」を提供し、オフィスはもちろん、コインランドリーなどの無人店舗やマンションの共用部で、スケジュールに

合わせて照明や空調などを自動制御することで省エネを可能にし、経費節減が図れます。

「セコムあんしんエコ文書サービス」は、給与明細書などの紙文書を電子化し、紙の使用量削減を通じて、環境の保全などに寄与しています。

■社会で新たに必要となるサービスの創出・提供がセコムの使命

セコムが新たな事業を行う時の判断基準は、「社会にとって有益で、セコムが実施するのが最適かどうか」です。今後も社会に必要で実現していないサービスの開発・提供をセコムの使命と考え、ビッグデータを有効活用して、新たなサービスの創出に果敢に挑戦し、さらなる成長をめざします。